

阪南市埋蔵文化財報告 32

阪南市埋蔵文化財発掘調査概要XIX

2004年
阪南市教育委員会

はしがき

阪南市は大阪府南部に位置し、大阪市のベッドタウンとしての様相を呈しています。近年では、今年開港10周年を迎える関西空港の埋め立て用の土砂採取が市内の山林で行われ、その跡地が住宅街となっています。この時期を中心として、市内では道路建設や住宅開発工事等が盛んに行われていました。こうした工事により、市内における埋蔵文化財の発掘調査も頻繁に実施されるようになりました。

しかし、長引く不況により、開発行為自体の件数は減少しています。埋蔵文化財の調査件数も横ばいの状況です。こうした工事の減少は、埋蔵文化財の保護の観点からは、プラスとなっていますが、経済不況については、早急に回復を望むものです。

一方、現在本市を含む、大阪府南部の5市町は、合併を目的に協議を進めています。この合併が成立すれば、新しい「市」による、様々なインフラ整備が実施される可能性があります。これにより、新たに埋蔵文化財への影響もあるものと思われます。

さて、本書は本市が国庫補助金を受け、個人の住宅建築等に先立って埋蔵文化財の「記録保存」として実施した発掘調査報告書です。

末筆にはなりましたが、土地所有者をはじめ、関係者各位に深く感謝を申し上げます。

2004年3月

阪南市教育委員会
教育長 川村 一郎

例 言

1. 本書は、阪南市教育委員会生涯学習推進課が平成15年度国庫補助事業として計画実施した阪南市埋蔵文化財発掘調査概要報告書である。
2. 調査は、生涯学習部生涯学習推進課三好義三、田中早苗、上野 仁及び松本武志を担当として実施した。
3. 本書内に示した標高は、T. P. であり、方位は既製の地形図などを使用したものを除いて磁北である。
4. 調査にあたっては、土地所有者など、関係者各位の理解と協力を得た。ここに記して感謝の意を表したい。
5. 本書の執筆・編集は、上記の調査担当者が行った。また、発掘調査、整理作業には以下の従事者があつた。
6. 本調査における記録は、実測図、写真、カラースライドなどに保存されている。当教育委員会にて保管しているので、広く活用されたい。

(調査従事者)

宇沢克之、太田敏治、平坂博司、上野高男、中出源三、中寺邦利、遠山法城、松岡崇、根無吉隆、藤林達也、和田旬世、井上祥子、井上 進、上田妙子、島田万帆、中寺幸子、丹羽明子、広島良子

目 次

第 1 節	尾崎清水遺跡	(1) 03-1区	1
第 2 節	馬川北遺跡	(1) 02-2区	2
		(2) 02-3区	3
		(3) 02-4区	4
		(4) 02-5区	5
		(5) 02-6区	
		(6) 02-7区	6
		(7) 02-8区	7
		(8) 02-9区	
第 3 節	馬川遺跡	(1) 03-1区	8
第 4 節	下出遺跡	(1) 03-1区	
		(2) 03-2区	9
第 5 節	黒田南遺跡	(1) 03-1区	10
		(2) 03-2区	11
第 6 節	神光寺(蓮池)遺跡	(1) 03-2区	
第 7 節	向出遺跡	(1) 03-1区	13
		(2) 03-2区	
第 8 節	高田遺跡	(1) 03-1区	14
第 9 節	和泉鳥取遺跡	(1) 03-1区	
第 10 節	貝掛遺跡	(1) 02-1区	15
		(2) 03-1区	18
第 11 節	田山東遺跡	(1) 03-1区	25

第1節 尾崎清水遺跡

(1) 03-1区

1. 調査の概要(第2～4図)

調査区は尾崎清水遺跡の西南端部に位置し、馬川北遺跡に隣接し、後述の馬川北遺跡02-2区から02-9区は本調査区の約100m南に所在する。調査は2.0m×1.3mのトレンチを設定して行なった。

近年の盛土、耕作土以下の基本層序は、第3層淡黄灰色土、第4層灰茶色土、第5層明黄灰色土、第6層灰黄色土、第7層暗灰色土、第8層灰黄色礫混土の順であった。このうち、第7層と第8層はその堆積状況から周辺の遺跡でみられる自然流路の堆積層であると考えられる。

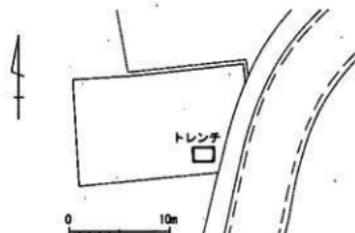
遺物は、第4層から中世期の瓦等、第5層から瓦器、製塩土器等、第7層から土師器等が出土した。

2. 遺物(第5図)

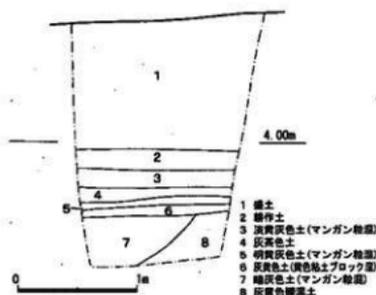
図化した遺物は以下の5点であった。1は弥生時代の製塩土器の脚部。2は須恵器の坏蓋。3は同じく須恵器の壺の口縁部。4は瓦器碗。5は土師質土器の小皿。全て第5層から出土した。



第2図 尾崎清水遺跡・馬川北遺跡調査区位置図



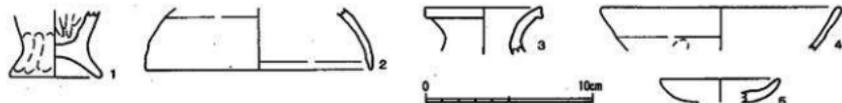
第3図 尾崎清水遺跡03-1区 トレンチ位置図



第4図 尾崎清水遺跡03-1区 トレンチ東側断面図

第2節 馬川北遺跡

馬川北遺跡は、本市東端部を流れる男里川下流左岸に形成された段丘下に位置する。既往の調査では、縄文時代晩期の滋賀里IV

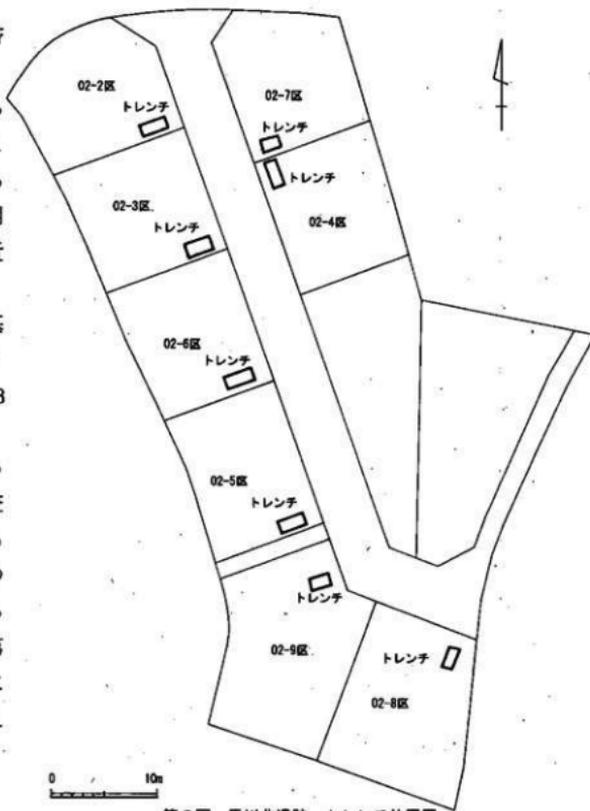


第5図 尾崎清水遺跡03-1区 出土遺物

期頃に属すると思われる凸帯
文土器が出土している。

以下に報告する02-2区から
02-9区までの8調査区は、こ
の馬川北遺跡のほぼ中央から
北に位置し、いずれも同じ開
発地内にあり、それぞれが近
接している。

これらの調査区における基
本的な層序は、第1層近年
の盛土、第2層耕作土、第3
層灰色土、第4層茶灰色土、
第5層淡灰褐色土の順であっ
た。以下に示すように、調査
区によっては、第5層が見ら
れない場合やそれぞれの層の
上下に部分的に別の層が見ら
れる場合があった。また、第
5層以下に堆積している層に
ついては、流路の埋土と考え
られる。

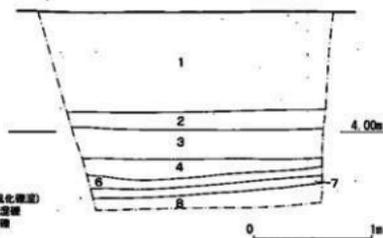


第6図 馬川北遺跡 トレンチ位置図

(1) 02-2区

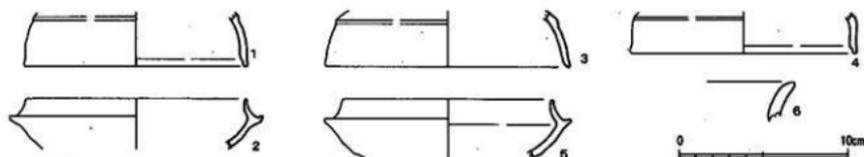
1. 調査の概要(第2・6・7図)

調査は、2.6m×1.1mのトレンチを
設定して行なった。上述の基本層序の
うち、第5層は見られず、第4層直下
に暗茶灰色土、暗茶黒色粘土混礫、淡
青灰色砂混礫の3つの堆積層が確認さ
れた。これらの3つの堆積層は、上述
したように流路の埋土と考えられる。
この流路以外に遺構は検出されなかつ
た。



第7図 馬川北遺跡02-2区 トレンチ南側断面図

遺物は、第3層及び第4層から瓦器をはじめ、須恵器、土師器等が出土している。



第8図 馬川北遺跡02-2区 出土遺物

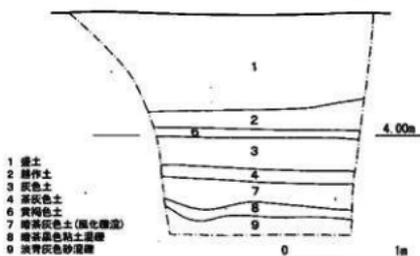
2. 遺物(第8図)

図化した遺物は、以下の6点であった。1及び3、4は須恵器の坏蓋。2と5は同じく坏身。6は土師器甕の口縁部。1と2が第3層から、3以下は第4層から出土した。

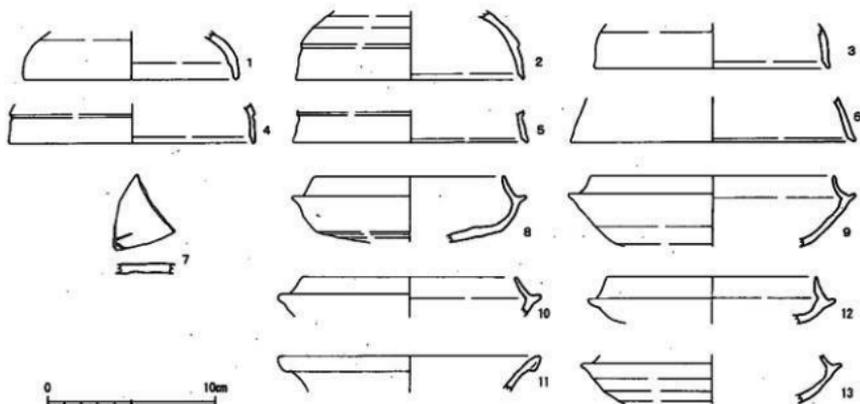
(2) 02-3区

1. 調査の概要(第2・6・9図)

調査は、2.6m×1.3mのトレンチを設定して行なった。調査トレンチの層序としては、基本層序の第3層直上に黄褐色土がみられ、第3層灰色土、第4層茶灰色土以下に流路の埋土である暗茶灰色土、暗茶黒色粘土混礫、淡青灰色砂混礫が確認された。



第9図 馬川北遺跡02-3区 トレンチ南側断面図



第10図 馬川北遺跡02-3区 出土遺物

流路以外の遺構は検出されなかった。

遺物は、第3層から瓦器、須恵器、サヌカイト等が、第4層から製塩土器等が、暗茶灰色土から土師器、須恵器が出土している。

2. 遺物(第10図)

図示した遺物は、以下の14点であった。1～7は須恵器の坏蓋。7はヘラ記号が見られる。8～10及び12、13は、同じく坏身。11は同じく壺の口縁部。1は第3層、2～12は第4層、13及び14は暗茶灰色土から出土した。

(3) 02-4区

1. 調査の概要(第2・6・11図)

調査は、2.6m×1.3mのトレンチを設定して行なった。近年の盛土以下の層序は、耕作土が見られず、第3層上に淡黄褐色土、黄褐色土が存在し、第4層茶灰色土直下に黄灰色粘質土が確認された。

流路以外の遺構は、検出されなかった。

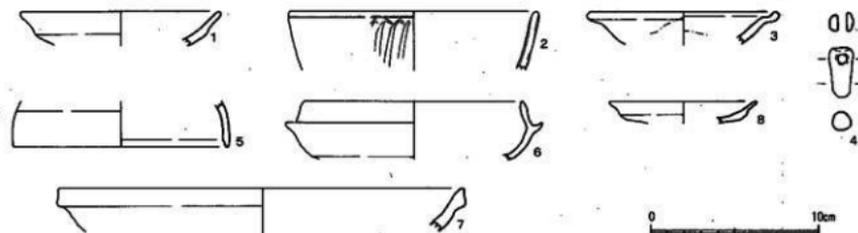
遺物は、黄褐色土から瓦器、陶器等が、第3層から白土器、土師質有孔土錘等が、第4層から瓦器、サヌカイト、須恵器等が出土した。

2. 遺物(第12図)

8点について、下記のとおり図化した。1は瓦器碗。2は蓮弁文の青磁碗。3は陶器の皿。4は土師質有孔土錘。5は須恵器坏蓋。6は同じく坏身。7は須恵質土器。いわゆる東播系捏鉢の口縁部。8は土師質小皿。1～3は黄褐色土層から、4は第3層から、5～8は第4層から出土した。



第11図 馬川北遺跡02-4区 トレンチ西側断面図



第12図 馬川北遺跡02-4区 出土遺物

(4) 02-5区

1. 調査の概要(第2・6・13図)

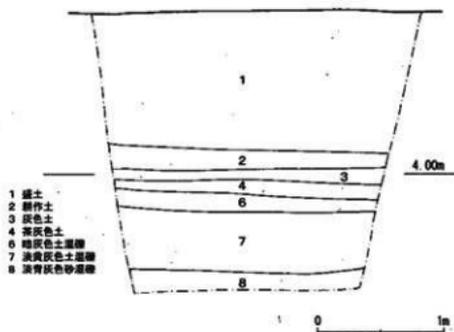
調査は、2.6m×1.2mのトレンチを設定して行なった。層序は、第3層、第4層までは、前述の基本的な層序の通りであるが、第5層は見られず、第4層の下には、流路の埋土である暗灰色土混礫、淡黄灰色土混礫、淡青灰色砂混礫が確認された。

本調査区においても、上記の流路以外の遺構は検出されなかった。

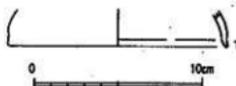
遺物は、第3層から陶器、須恵器等、第4層から陶器、須恵器等が出土している。また、暗灰色土混礫から土師器が出土している。

2. 遺物(第14図)

図化し得たのは、第4層から出土した須恵器坏蓋1点のみであった。



第13図 馬川北遺跡02-5区 トレンチ北側断面図



第14図 馬川北遺跡02-5区 出土遺物

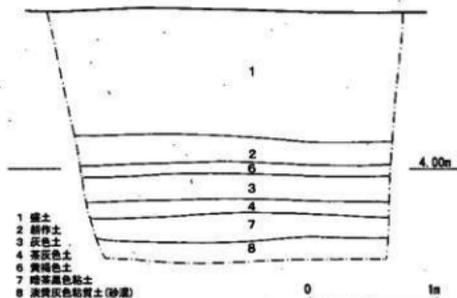
(5) 02-6区

1. 調査の概要(第2・6・15図)

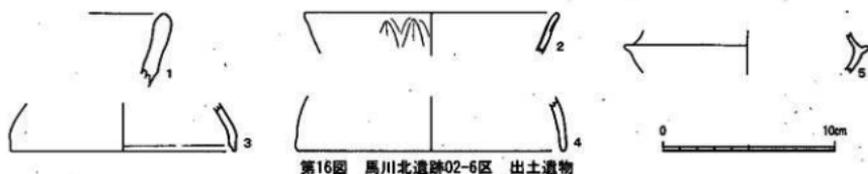
調査は、2.6m×1.3mのトレンチを設定して行なった。本調査区の層序は、第2層耕作土の下に黄褐色土が見られ、第3層、第4層と続き、その下からは、暗茶黒色粘土、淡黄灰色粘質土が確認された。

前述の02-2区他と同様、暗茶黒色粘土、淡黄灰色粘質土は、流路の埋土と思われる。

遺物は、黄褐色土及び第3・4層から瓦器や白土器の他、青磁、須恵器、瓦、製塩土器等が、暗茶黒色粘土から瓦器、須恵器等が出土している。



第15図 馬川北遺跡02-6区 トレンチ南側断面図



第16図 馬川北遺跡02-6区 出土遺物

2. 遺物(第16図)

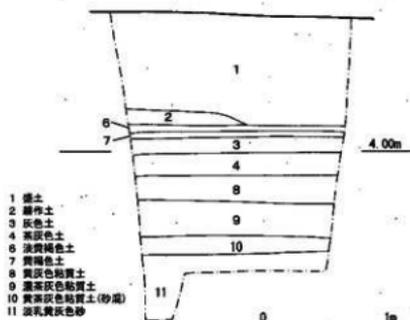
図化し得たのは、5点。1は製塩土器の口縁部。2は蓮弁文を有する青磁碗。以上2点は黄褐色土及び第3・4層から、以下の3点は暗茶黒色粘土から出土した。3及び4は須恵器坏蓋。5は同じく坏身。

(6) 02-7区

1. 調査の概要(第2・6・17図)

調査は、2.0m×1.2mのトレンチを設定して行なった。層序は、第2層と第3層との間に淡黄褐色土、黄褐色土が見られ、第4層の下に黄灰色粘質土、濃茶灰色粘質土、黄茶灰色粘質土、淡乳黄灰色砂が見られた。

前述の調査区同様、流路以外の遺構は検出されなかった。上述した黄灰色粘質土以下の層は、流路の埋土である。

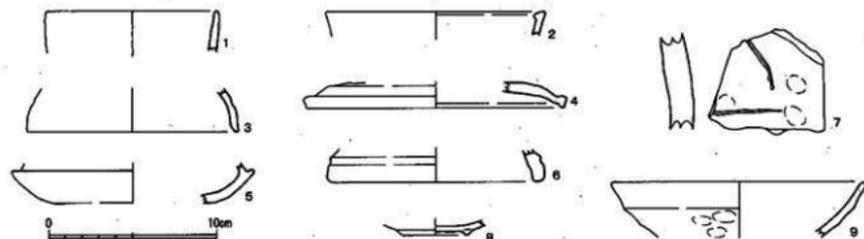


第17図 馬川北遺跡02-7区 トレンチ南側断面図

遺物は、淡黄褐色土から陶器、須恵器等、黄褐色土から瓦器、須恵器等、第3層から瓦器、土師質蛸壺、中世期の瓦等が、第4層から瓦器、須恵器等が出土した。

2. 遺物(第18図)

図化したのは、以下の9点のみである。1、2はそれぞれ陶器の碗と鉢。ともに淡黄褐色土から出土した。3と4は須恵器坏蓋。5は同じく坏身。6は須恵器の高坏の脚部と思われる。7は土師質蛸壺の体部。ヘラ記号が見られる。8と9は瓦器碗。3～9は第3層から出土した。



第18図 馬川北遺跡02-7区 出土遺物

(7) 02-8区

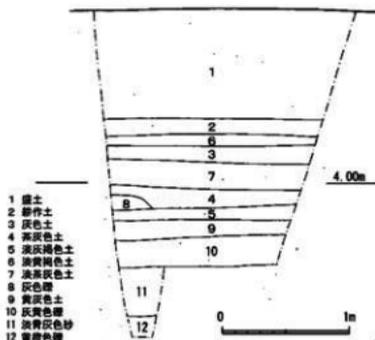
1. 調査の概要(第2・6・19図)

調査は、2.0m×1.2mのトレンチを設定して行なった。

本調査区の盛土、耕作土以下の層序は、淡黄褐色土、第3層、淡茶灰色土、第4層、灰色礫、第5層、黄灰色土、灰黄色礫、淡青灰色砂、黄褐色礫であった。

本調査区においても流路以外の遺構は確認されなかった。上記の黄灰色土以下の層は流路の埋土である。

遺物は、淡黄褐色土から陶磁器等が、淡茶灰色土から土師質蛸壺、須恵器等が出土した。いずれも小片のため、図化し得なかった。



第19図 馬川北遺跡02-8区 トレンチ北側断面図

(8) 02-9区

1. 調査の概要(第2・6・20図)

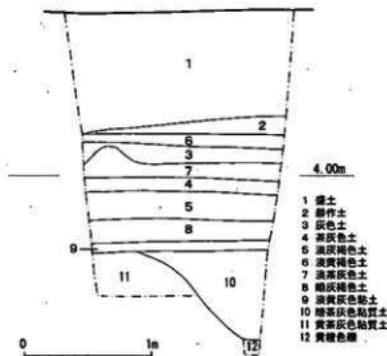
調査は、2.0m×1.2mのトレンチを設定して行なった。近年の盛土及び耕作土以下の層序は、淡黄褐色土、第3層、淡茶灰色土、第4層、第5層、暗灰褐色土、淡黄灰色粘土、暗茶灰色粘質土、黄茶灰色粘質土、黄褐色礫であった。

流路以外の遺構は、確認されなかった。本調査区においても、第5層より下の暗灰褐色土以下の層は流路の埋土である。

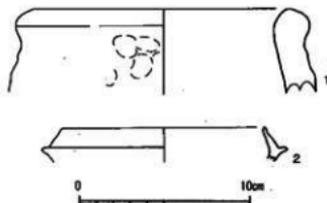
遺物は、第3層をはじめ、第4層や後述のように他の層から、須恵器や土師器等が出土している。

2. 遺物(第21図)

図化したのは、2点。1は淡黄褐色土から出土した土師質蛸壺。2は須恵器坏身で、淡茶灰色土から出土した。



第20図 馬川北遺跡02-9区 トレンチ南側断面図



第21図 馬川北遺跡02-9区 出土遺物

第3節 馬川遺跡

(1) 03-1区

1. 調査の概要(第22~24図)

調査区は、馬川遺跡の南端部に位置する。男里川が形成した段丘の直下にあたる。

近年の周辺の調査から、中世以降に耕地化されたと想定されている場所にあたる。調査は、2.7m×1.3mのトレンチを設定して実施した。

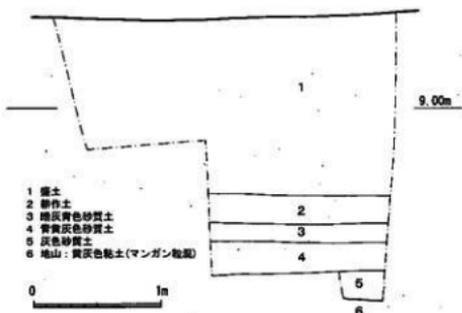
近年の盛土、耕作土以下の基本層序は、第3層暗灰青色砂質土、第4層青黄灰色砂質土、第5層灰色砂質土、第6層黄灰色粘土(地山)であった。

遺構は確認されなかった。

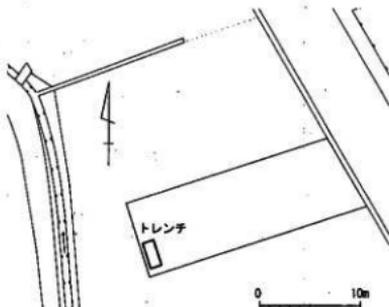
遺物は、第3層から瓦器、白土器、須恵器等が、第4層から瓦器、製塩土器、中世期の瓦等が出土した。



第22図 馬川遺跡・下出遺跡調査区位置図



第24図 馬川遺跡03-1区 トレンチ西側断面図



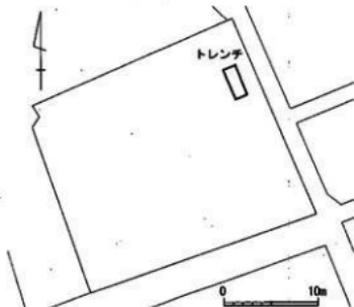
第23図 馬川遺跡03-1区 トレンチ位置図

第4節 下出遺跡

(1) 03-1区

1. 調査の概要(第22・25・26図)

調査区は、下出遺跡の北部に位置する。調査区内に3.3m×1.3mのトレンチを設定し、調査を



第25図 下出遺跡03-1区 トレンチ位置図

実施した。

基本層序は、第1層盛土、第2層耕作土、第3層灰茶色土、第4層茶色土、第5層茶黒色土、第6層黄色土(地山)であった。

遺構は、第5層上面で土坑を1検出した。

遺物は、第4層から陶磁器等、第5層から瓦質土器、土師質埴壺、瓦等が出土した。

2. 遺構(第26図)

一土坑一

調査トレンチ南端部の第5層上面で検出した。南北1.5m以上、東西35cm以上の規模である。埋土は暗茶色土であった。遺物は出土していないが、埋土上に近世期と考えられる第4層が堆積していることから、近世以前の時期のものであろう。

3. 遺物(第27図)

図化したのは、以下の2点である。1は瓦質土器の插鉢である。2は土師質の管状土錘である。いずれも第5層から出土した。

(2) 03-2区

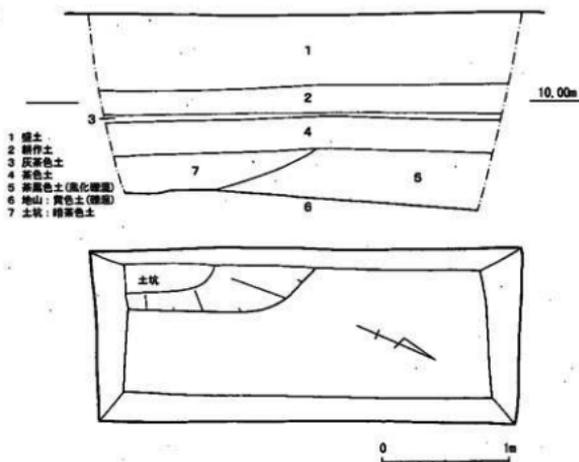
1. 調査の概要(第22・28・29図)

調査区は、下出遺跡の東端部に位置する。調査区内に2.1m×1.4mのトレンチを4ヵ所設定して実施した。

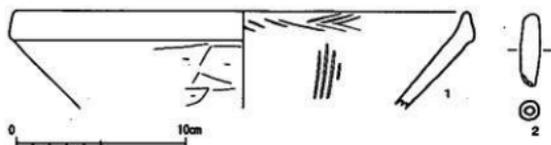
近年の盛土、耕作土以下の基本層序は、第3層茶灰色砂質土、第4層暗黄茶灰色土、第5層暗茶灰色土、第6層明黄色粘土(地山)であった。

遺構は検出されなかった。

遺物は、第3層から陶磁器等、第4層から瓦器、土師質土器等が、第5層から瓦器が出土した。



第26図 下出遺跡03-1区 トレンチ平面図・断面図



第27図 下出遺跡03-1区 出土遺物

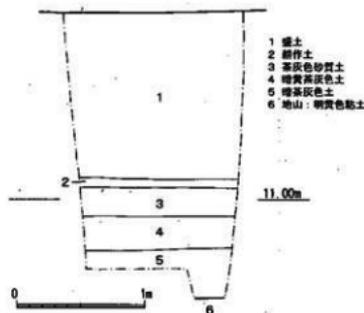
2. 遺物(第30図)

出土遺物のほとんどが小片であったため、図化し得たのは、以下の3点のみであった。

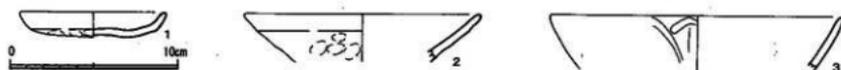
1は土師質土器の小皿。2は瓦器碗。3は蓮弁文を有する青磁の碗。いずれも第3層から出土した。



第28図 下出遺跡03-2区 トレンチ位置図



第29図 下出遺跡03-2区 1トレンチ南側断面図



第30図 下出遺跡03-2区 出土遺物

第5節 黒田南遺跡

(1) 03-1区

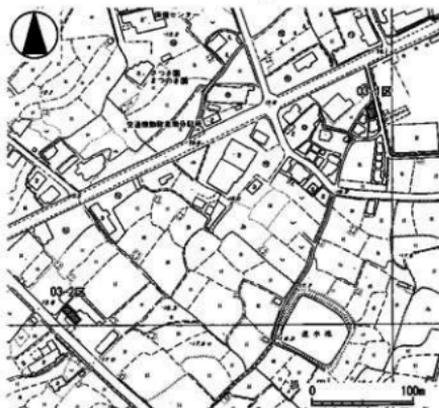
1. 調査の概要(第31~33図)

調査区は黒田南遺跡の東端部に位置する。調査は、調査区内に2.0m×1.8mのトレンチを設定して行なった。

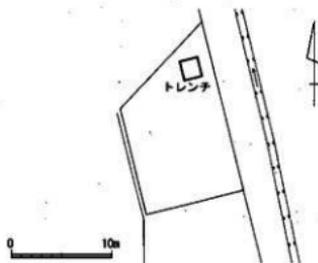
近年の盛土、耕作土以下の基本層序は、第3層明茶灰色粘質土、第4層淡黄灰色粘質土、第5層淡茶黄灰色粘質土、第6層淡灰黄色粘質土(地山)の順であった。

遺構は検出されなかった。

遺物は、第4層及び第5層から瓦器、土師質土器、白磁等が出土した。出土遺物はいずれも小片のため、図化していない。



第31図 黒田南遺跡 調査区位置図



第32図 黒田南遺跡03-1区 トレンチ位置図

(2) 03-2区

1. 調査の概要(第31・34・35図)

調査区は黒田南遺跡の西南端部に位置し、神光寺(蓮池)遺跡に近接する。調査は、調査区内に2.4m×1.5mのトレンチを設定して行なった。

近年の盛土、耕作土以下の基本層序は、第3層灰茶色土、第4層淡黄灰色粘土(地山)であった。

遺構は検出されなかった。

遺物は、第3層から須恵器、土師器、瓦器が出土した。いずれも小片のため図化し得なかった。

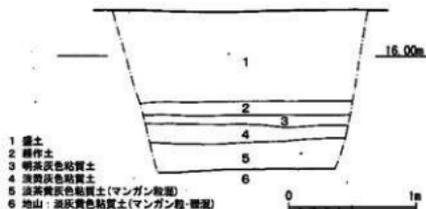
第6節 神光寺(蓮池)遺跡

(1) 03-2区

1. 調査の概要(第36~38図)

調査区は、神光寺(蓮池)遺跡の中央南側に位置する。調査は、調査区内に2.8m×2.0mのトレンチを設定して行なった。

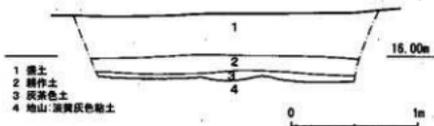
基本層序は、第1層淡茶灰色土、第2層灰色土、第3層淡灰黄茶色粘質土、第4層暗茶灰色土、第5層灰色土混礫、第6層茶褐色粘質土、第7層濃茶褐色粘質土(地山)であった。



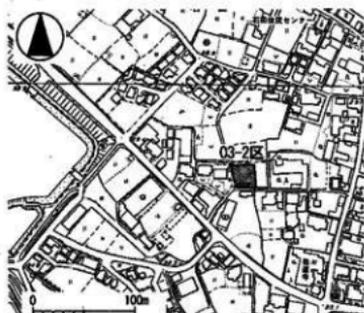
第33図 黒田南遺跡03-1区 トレンチ西側断面図



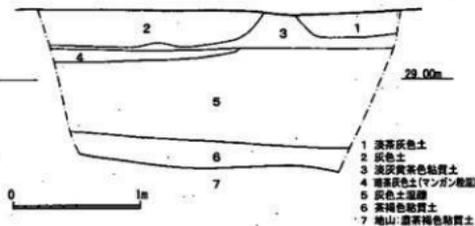
第34図 黒田南遺跡03-2区 トレンチ位置図



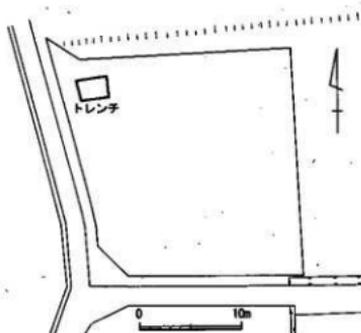
第35図 黒田南遺跡03-2区 トレンチ西側断面図



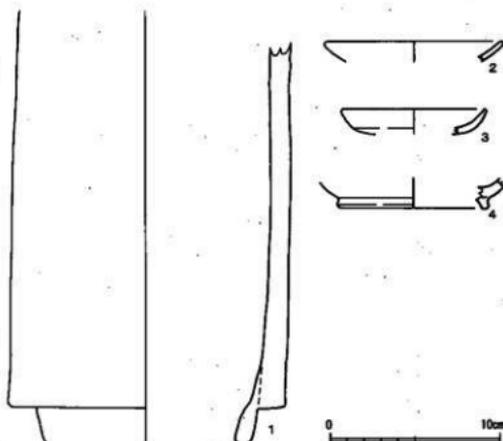
第36図 神光寺(蓮池)遺跡調査区位置図



第38図 神光寺(蓮池)遺跡03-2区 トレンチ南側断面図



第37図 神光寺(蓮池)遺跡03-2区 トレンチ位置図



第39図 神光寺(蓮池)遺跡03-2区 出土遺物

遺構は検出されなかったが、上述の堆積土の状況から第5層及び第6層は、流路の埋土と考えられる。

遺物は、第2層から近世期の瓦、土管等が、第4層から瓦器、白土器、黒色土器、土師質蛸壺、陶磁器等が出土した。

2. 遺物(第39図)

出土遺物のうち、以下4点について図化した。1は第2層から出土した土師質の土管である。内面にハナレ砂が見られる。2は磁器の小皿。3は白土器の小皿。以上2点は第4層から出土した。4は須恵器坯身高台部である。

第7節 向出遺跡

(1) 03-1区

1. 調査の概要(第40～42図)

調査区は向出遺跡の南部に位置する。1998年度に大規模な縄文時代の土坑墓群が確認された台地のほぼ中央部にあたる。調査は、2.2m×1.0mのトレンチを設定して実施した。

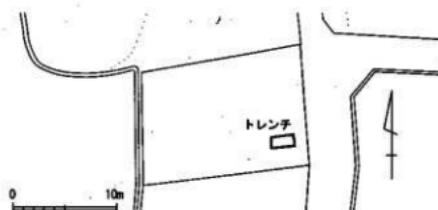
近年の盛土、耕作土以下の基本層序は、第3層淡茶灰色砂質土、第4層濃茶灰色風化礫混土(地山)であった。

遺構は、確認されなかった。

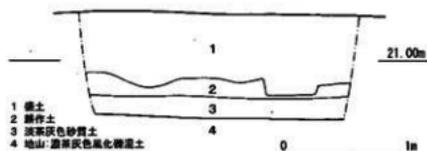
遺物は、第3層から土師質土器等が出土した。遺物はいずれも小片のため図化し得なかった。



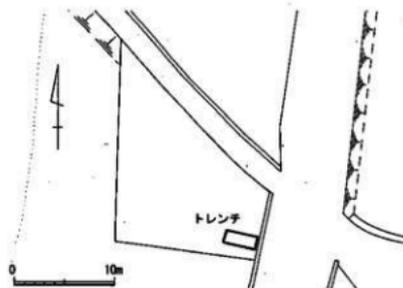
第40図 向出遺跡調査区位置図



第41図 向出遺跡03-1区 トレンチ位置図



第42図 向出遺跡03-1区 トレンチ北側断面図



第43図 向出遺跡03-2区 トレンチ位置図

(2) 03-2区

1. 調査の概要(第40・43図)

調査区は、向出遺跡のほぼ中央部に位置する。上述した土坑墓群が確認された台地の北端部にあたる。

調査は、調査区内に3.2m×1.5mのトレンチを設定して実施した。

土木工事によって影響を受けるレベルまで掘削を行ったが、全て近年の盛土であった。

第8節 高田遺跡

(1) 03-1区

1. 調査の概要(第44・45図)

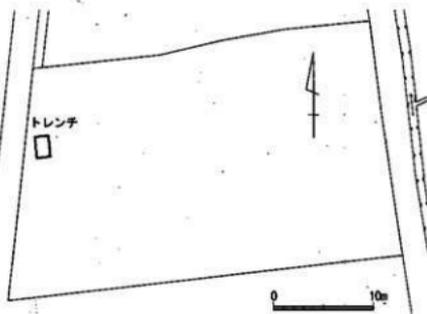
調査区は高田遺跡のほぼ中央部に位置する。

調査は、調査区内に2.2m×1.4mのトレンチを設定して実施した。

土木工事により影響がおよぶレベルまで掘削を行ったが、すべて近年の盛土であった。近接地における既往の調査では、今回掘削した同じレベルで、遺物包含層が確認されており、すでに近年の工事等により削平されていたと考えられる。



第44図 高田遺跡調査区位置図



第45図 高田遺跡03-1区 トレンチ位置図

第9節 和泉鳥取遺跡

(1) 03-1区

1. 調査の概要(第46～48図)

調査区は、和泉鳥取遺跡の南端部に位置する。

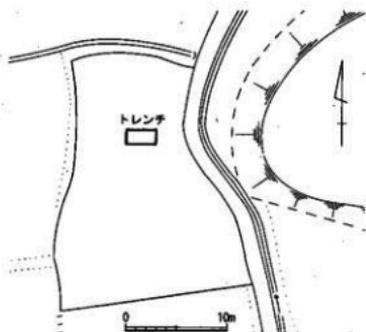
調査区内に3.0m×1.5mのトレンチを設定して調査を実施した。

耕作土以下の基本層序は、第2層明橙色土、第3層暗橙色砂質土、第4層灰青色粘土、第5層暗灰茶色粘土(地山)であった。

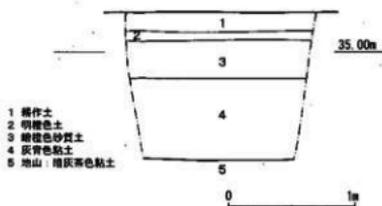
遺構、遺物ともに検出されなかった。



第46図 和泉鳥取遺跡調査区位置図



第47図 和泉鳥取遺跡03-1区 トレンチ位置図



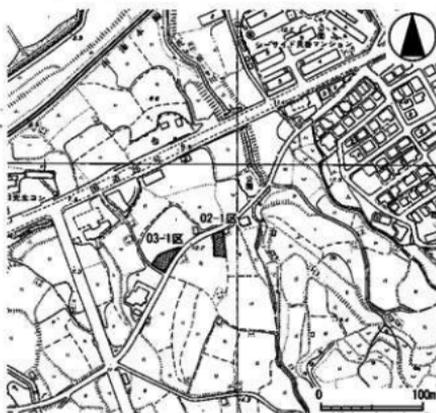
第48図 和泉鳥取遺跡03-1区 トレンチ東側断面図

第10節 貝掛遺跡

(1) 02-1区

1. 調査の概要(第49～51図)

調査区は、貝掛遺跡の西部に位置する。釈迦坊川と花折川との間の段丘上に位置する。この釈迦坊川右岸段丘上では、既往の調査で縄文時代から近世期にかけて様々な遺物が出土しており、古代期の建物跡等も検出されている。8.0m×12.0mの調査区を設定し、そのうちから土木工事によって影響を受ける周囲及び中央部分を幅1mで調査を行なった。



第49図 貝掛遺跡調査区位置図

耕作土以下の基本的な層序は、第2層褐茶灰色砂質土、第3層茶灰黄色土、第4層黄茶灰色土、第5層灰黄色粘土(地山)であった。

遺構は、建物を1、土坑を1、溝を2、落ち込みを1、ピットを1検出した。遺物は、第2層から瓦質土器、土師質管状土錘等が、第3層から瓦器、須恵器、製塩土器、土師質蛸壺等が出土している。

2. 遺構(第51図)

遺構は後述の通り、奈良時代のものであったが、堆積土層の状況から、これらの遺構は、すべて同時期のものではなく、溝や土坑、落ち込みは、建物に若干先行する時期のものであると考えられる。

—建物1—

調査区中央で検出した。東西3間以上×南北1間以上の掘立柱建物。柱穴の埋土から土師器、須恵器が出土しており、奈良時代のもと思われる。この建物は検出された柱穴を中心として、西及び北方向に広がる総柱建物であった可能性が考えられる。

—土坑1—

調査区北東部で検出した。東西90cm以上、南北3.6m以上、深さ30cm以上を呈する。埋土は、暗灰茶色砂質土で、埋土中から土師器、須恵器が出土している。奈良時代と思われる。

—溝1—

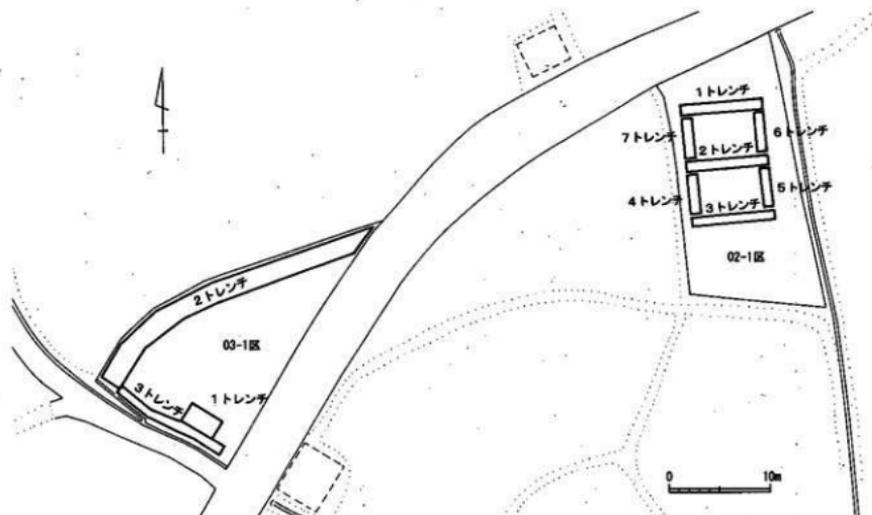
調査区の東端部で確認された。南北方向に延びる溝。幅約90cm以上、深さ約35cmを呈する。埋土は、暗灰茶色砂質土、淡黄灰色砂質土であった。埋土中から須恵器、土師器が出土している。奈良時代のもと思われる。

—溝2—

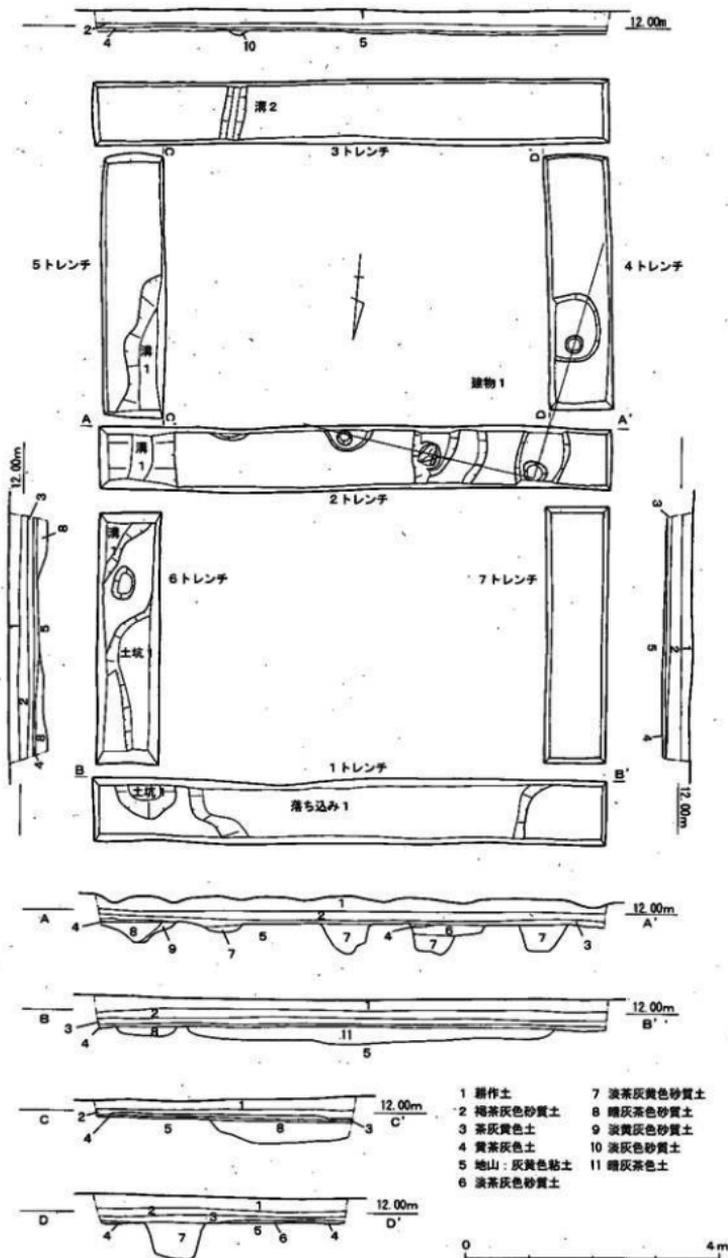
調査区南東部で検出した。南北方向に流れる。幅約35cm、深さ約10cmを呈する。埋土は淡灰色砂質土で、埋土中から土師器、須恵器が出土しており、時代は奈良時代のもと思われる。

—落ち込み1—

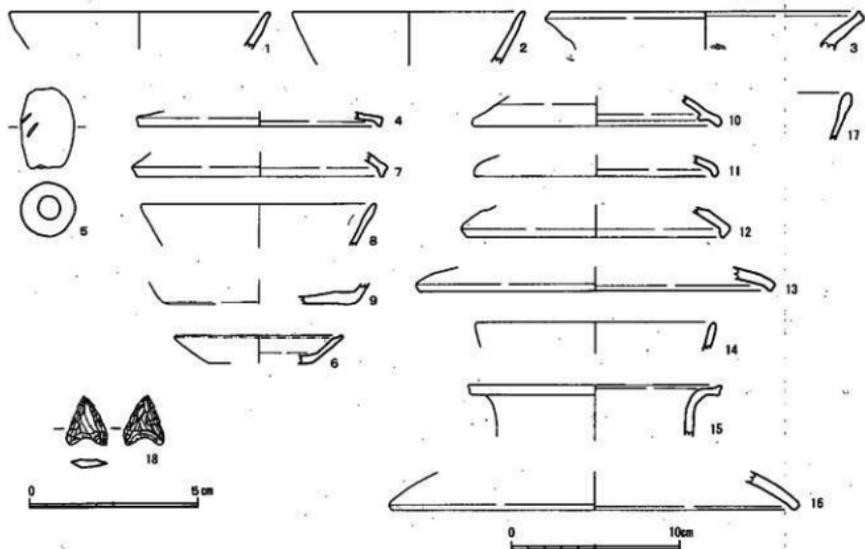
調査区北部で検出した。埋土は暗灰茶色土であった。埋土中から後述する須恵器坏身や土師器が出土している。奈良時代のもと思われる。



第50図 貝掛遺跡02-1区・03-1区 トレンチ位置図



第51図 貝掛遺跡02-1区 トレンチ平面図・断面図



第52図 貝掛遺跡02-1区 出土遺物

2. 遺物(第52図)

図示した遺物は、下記の通り18点であった。1～3は遺構から、4は第1層から、5～9は第2層から、10～17は第3層から、18は調査区内から出土した。1は須恵器の坏身。建物の柱穴から出土した。2も同じく須恵器の坏身。落ち込み1から出土した。3は土師器甕の口縁部。溝2から出土した。4は須恵器坏蓋。5は土師質管状土錘。6は白磁皿。7～15は須恵器。7、10～13は坏蓋。8、9、14は坏身。15は壺。16は土師器の蓋。17は製塩土器。18はサヌカイトの石鏃。

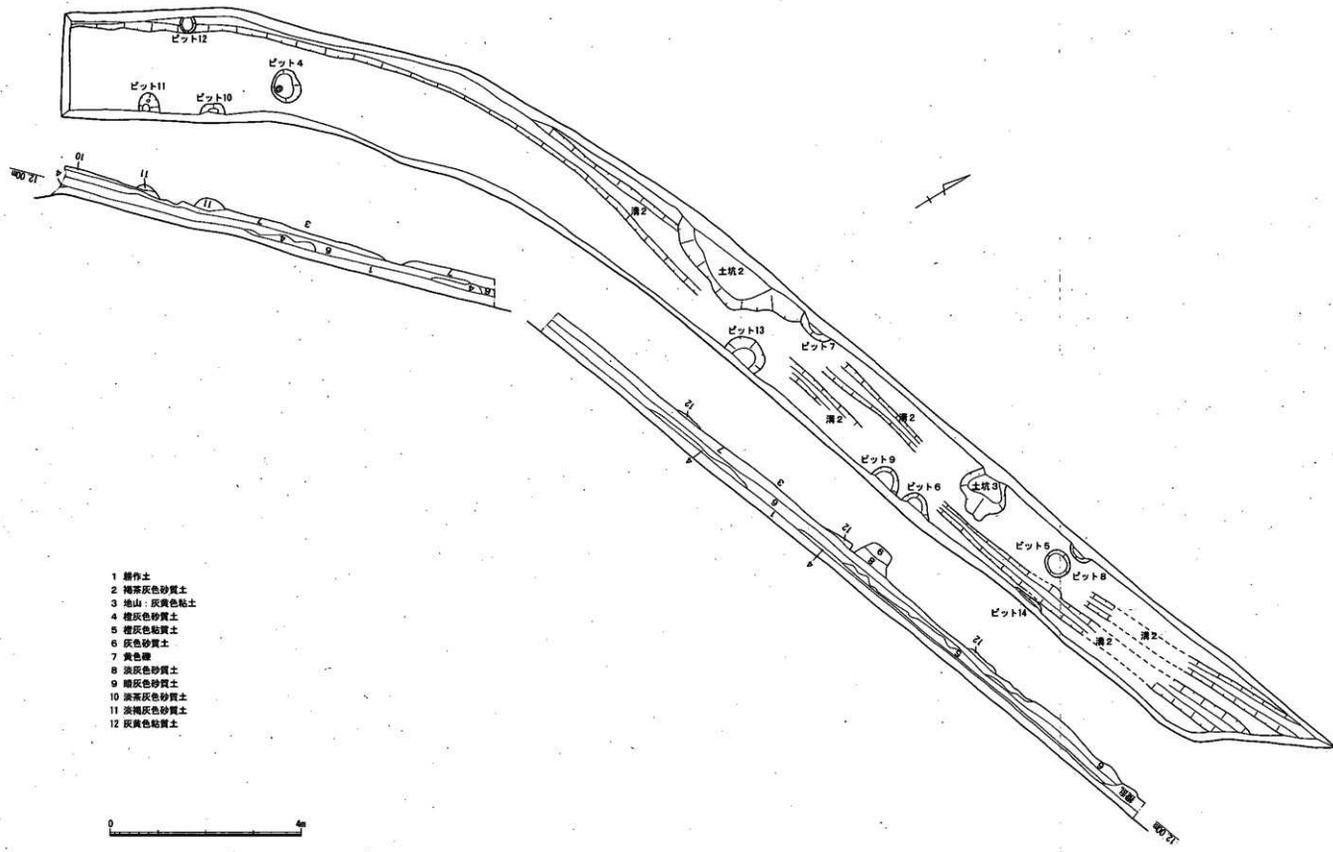
(2) 03-1区

1. 調査の概要(第49・50・53・54図)

調査区は、貝掛遺跡の西部、釈迦坊川が形成した右岸段丘上に位置する。本調査区の約70m北西には、飛鳥時代の建物跡等が確認され、奈良三彩が出土した89-1区と呼ぶ調査区がある。

調査区内に3.5m×2.0m(1トレンチ)、31.0m×2.0m(2トレンチ)、11.0m×1.0m(3トレンチ)の3ヵ所のトレンチを設定して調査を実施した。

耕作土以下の基本層序は、第2層褐茶灰色砂質土、第3層灰黄色粘土(地山)であった。しかし、水田を拡張するためか、2トレンチ及び3トレンチ北端部では近世期に第2層を削平して、橙灰色砂質土、橙灰色粘質土、灰色砂質土、黄色礫の層の堆積がみられた。



- 1 耕作土
- 2 褐赤灰色砂質土
- 3 地山：灰黄色粘土
- 4 暗灰色砂質土
- 5 橙灰色粘質土
- 6 灰色砂質土
- 7 黄赤色
- 8 淡灰色砂質土
- 9 暗灰色砂質土
- 10 赤褐色砂質土
- 11 淡褐色砂質土
- 12 灰黄色粘質土

第54図 具掛遺跡03-1区 2トレンチ平面図・断面図

遺構は、第3層上面で溝を2、土坑を3、ピットを14検出した。

遺物は、土坑のそれぞれから土師器、須恵器等が、溝から磁器等をはじめ、いくつかのピットからも製塩土器、須恵器等が出土している。また、第2層から瓦器、須恵器等が出土している。

2. 遺構

1 トレンチ(第53図)

一土坑1-

トレンチ中央部の第3層上面で検出した。長径約1.1m、短径約85cm、検出面からの深さ約50cmを呈する。埋土は淡褐色灰色砂質土であった。遺物は土師器、須恵器が出土している。出土した遺物から中世期以前一概ね平安時代頃一のものと考えられる。

一溝1-

トレンチ南西部で検出した。南東から北西方向に延びる。幅15cm以上、検出面からの深さ10cm。ピット1・2を切っている。埋土は灰色砂質シルトであった。埋土中から須恵器、白土器、瓦器が出土している。出土した遺物から中世期のものと考えられる。遺構全体が検出されていないため、土坑の可能性もある。

一ピット1・2-

ともにトレンチ南西端部、第3層上面で検出した。埋土は灰褐色粘質シルトであった。遺物は出土しなかったが、埋土の堆積状況から中世期以前のものと考えられる。なお、上述の溝1に切られており、中世期の溝1に若干先行する時代のものである。

一ピット3-

トレンチの南端部、第3層上面で検出した。埋土は灰色砂質シルトであった。遺物は出土しなかったが、堆積状況から中世期のものと考えられる。

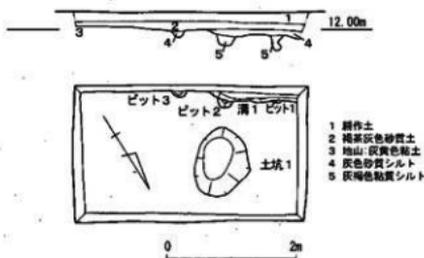
2 トレンチ(第54図)

一土坑2-

トレンチ中央部の第3層上面で検出した。東西3.2m以上、南北1.0m以上、検出面からの深さ30cmを呈する。埋土は暗灰色砂質土であった。遺物は、後述の須恵器坏身・坏蓋、釣鐘形の真蛸壺、土師器、製塩土器等が出土している。飛鳥時代の遺構であると考えられる。

一土坑3-

トレンチの東部、第3層上面で検出した。南北1.0m以上、東西約1.0m、検出面からの深さ70cmを呈する。埋土は淡灰色砂質土と暗灰色砂質土であった。遺物は土師器、製塩土器等が出土した。出土した遺物から飛鳥時代のものと考えられる。



第53図 貝掛遺跡03-1区 1トレンチ平面図・断面図

—溝2—

第3層上面で検出した。幅約40cm、検出面からの深さ約10cmを呈する。東西方向に延びている。トレンチの東部で2本に分かれている。埋土は褐灰色砂質土であった。埋土から磁器等が出土しており、近世期のものと考えられる。

—ピット4・10～12—

いずれもトレンチ西部の第3層上面で検出した。埋土は淡褐灰色砂質土であった。遺物は須恵器、土師器、製塩土器が出土している。出土した遺物や埋土の状況から奈良時代のものと考えられる。

—ピット5・6—

トレンチ中央部から東部の第3層上面で検出した。埋土はいずれも淡灰色砂質土と暗灰色砂質土であった。埋土中から土師器が出土している。埋土が上述の土坑3と同じであり、出土遺物からも土坑3と同時期—飛鳥時代—のものと考えられる。

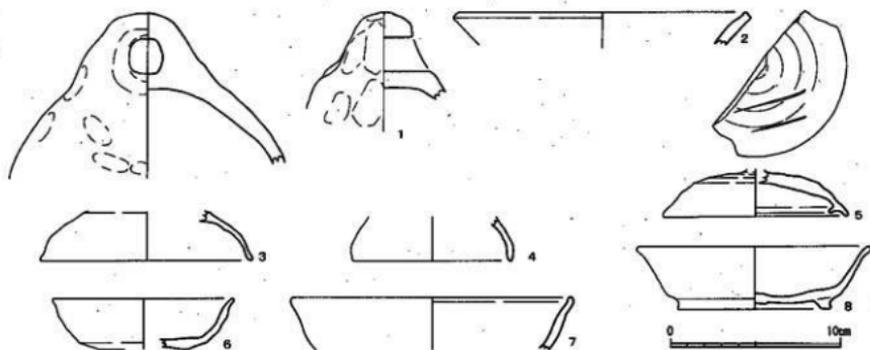
—ピット7～9・13・14—

トレンチ中央から東部の第3層上面で検出した。埋土は灰黄色粘質土であった。出土遺物や埋土の状況から奈良時代のものと考えられる。

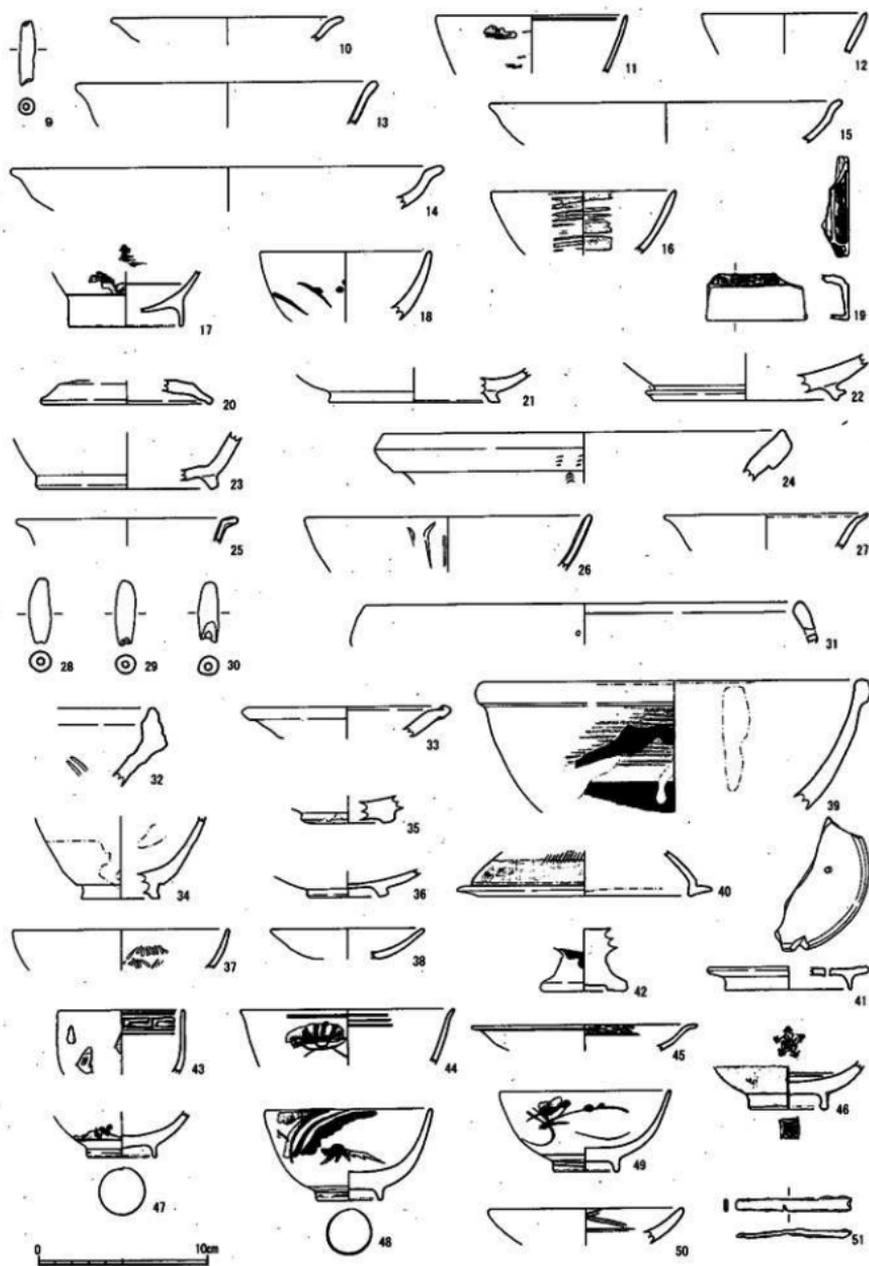
3. 遺物(第55～57図)

1～6は上述の2トレンチで検出された土坑2から出土した。1は土師質の蛸壺。いわゆる釣鐘型で真蛸捕獲用のものである。2は土師器甕の口縁部。3～5は須恵器坏蓋。5にはヘラで刻まれた記号が見られる。6は須恵器坏身。7は土坑3から出土した土師器坏。8は須恵器の坏身で溝1から出土したが、この遺構は近世期のものであり、後世の流れ込みである。

9～11は第1層から採取した。9は土師質管状土鍾。10は白磁皿。11は染付けの碗で、伊万里と思われる。12は第2層から出土した、須恵器坏身。13～19は、橙灰色砂質土、橙灰色粘質土から出土した。13及び14は、ともに青磁で、13は碗。14は盤。

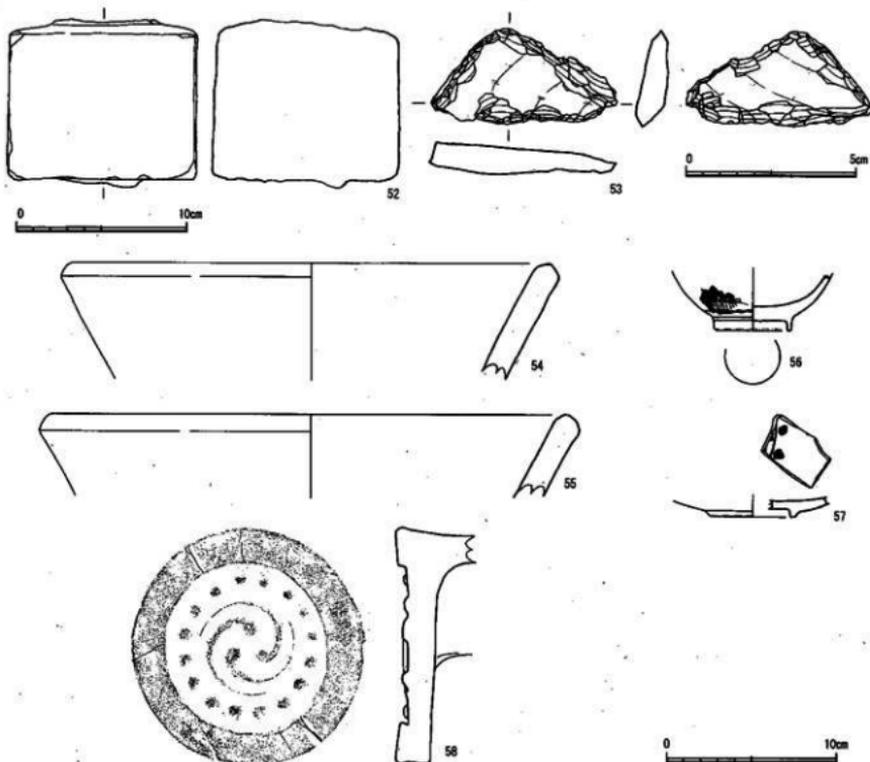


第55図 貝掛遺跡03-1区 出土遺物



第56图 貝掛遺跡03-1区 出土遺物

15及び16は陶器で、15は肥前の皿。16は唐津の碗。17～19は染付け。うち、17は伊万里の広東碗。18は波佐見の碗。19は伊万里の水滴と思われる。20～52は灰色砂質土から出土した。20～24は須恵器で、20は坏蓋。21～23は坏身。24は甕。25～27は舶載陶磁器。前2点は青磁碗。残1点は白磁碗。28～30は土師質管状土錘。31は土師質炮烙。32～42は陶器で、32は備前の播鉢。33は瀬戸の皿。34～36はいずれも碗。うち34は唐津。36は褐釉。37及び38は肥前系の碗と皿。39は唐津の鉢。40及び41は蓋。42は仏飯器。43～50は磁器で、43～45は伊万里。43は湯呑み。44は碗。45は皿。46～49は波佐見の碗。46はいわゆる波佐見青磁で、50は波佐見の皿。51は刀子。52は五輪塔の地輪部。53～58は黄色礫から出土した。53はサヌカイト。スクレイパーの可能性はある。54及び55は土師質土器で、製糖用の漏斗。56及び57は染付け。58は軒丸瓦。



第57回 貝掛遺跡03-1区 出土遺物

第11節 田山東遺跡

(1) 03-1区

1. 調査の概要(第58～60図)

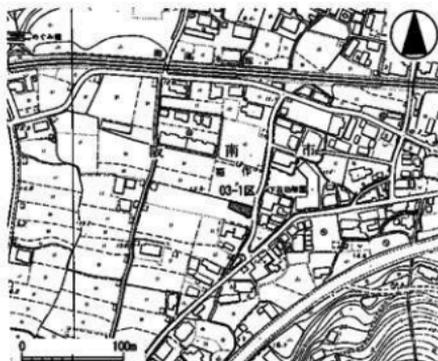
調査区は、田山東遺跡の南部、田山遺跡に近接する場所に位置する。調査は、調査区内に4.8m×1.8mのトレンチを設定して行なった。

近年の盛土以下の基本層序は、第2層暗灰茶色土、第3層褐灰黄色土、第4層灰茶色砂質土、第5層明黄灰色土、第6層黄灰色土(地山)の順であった。遺構は検出されなかった。

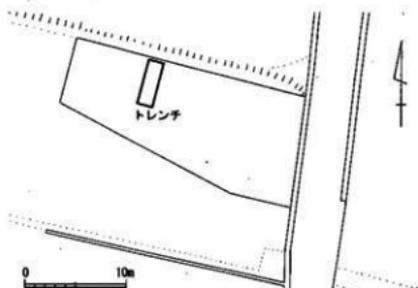
遺物は、第2～4層から瓦器をはじめ土師質土器(管状土鉢、蛸壺等)、須恵質土器、青磁、白土器等が出土している。

2. 遺物(第61図)

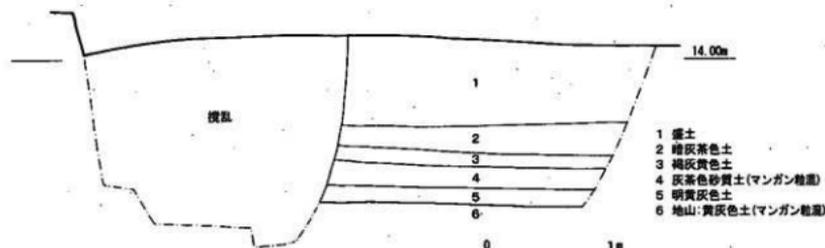
1は磁器の口縁部で、青花碗と思われる。2はいわゆる東播系須恵質土器の捏鉢。3と10は土師質管状土鉢。4～7はいずれも白土器の皿。8は瓦器碗。9は土師質小皿。1～5は第2層から、6～10は第3層から出土した。



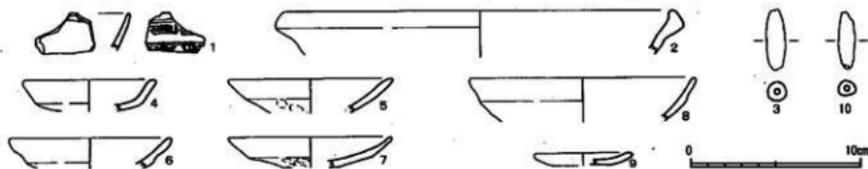
第58図 田山東遺跡調査区位置図



第59図 田山東遺跡03-1区 トレンチ位置図



第60図 田山東遺跡03-1区 トレンチ東断面図



第61図 田山東遺跡03-1区 出土遺物

報告書抄録

ふりがな	ほんなんしまいどうぶんかざいはくつちようさがいよう							
書名	阪南市埋蔵文化財発掘調査概要 19							
副書名								
巻次								
シリーズ名	阪南市埋蔵文化財報告							
シリーズ番号	32							
編著者名	三好義三・田中早苗・上野仁・松本武志							
編集機関	阪南市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課							
所在地	〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1 TEL 0724-71-5678							
発行年月日	2004年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村番号	遺跡番号					
おざきしみず 尾崎清水	おざきちよう 尾崎町	27232	68	34° 21' 36"	135° 14' 54"	040119	2.6	住宅
うまがわきた 馬川北	しもいで 下	27232	61	34° 21' 33"	135° 14' 54"	030218	2.9	住宅
うまがわきた 馬川北	しもいで 下	27232	61	34° 21' 33"	135° 14' 55"	030214	3.4	住宅
うまがわきた 馬川北	しもいで 下	27232	61	34° 21' 33"	135° 14' 55"	030214	3.4	住宅
うまがわきた 馬川北	しもいで 下	27232	61	34° 21' 32"	135° 14' 56"	030218	3.1	住宅
うまがわきた 馬川北	しもいで 下	27232	61	34° 21' 32"	135° 14' 55"	030218	3.1	住宅
うまがわきた 馬川北	しもいで 下	27232	61	34° 21' 33"	135° 14' 55"	030324	2.0	住宅
うまがわきた 馬川北	しもいで 下	27232	61	34° 21' 32"	135° 14' 56"	030416	2.0	住宅
うまがわきた 馬川北	しもいで 下	27232	61	34° 21' 32"	135° 14' 55"	030326	2.4	住宅
うまがわ 馬川	しもいで 下	27232	39	34° 20' 20"	135° 15' 07"	030430	3.5	住宅
しもいで 下	しもいで 下	27232	66	34° 21' 18"	135° 15' 01"	031105	5.4	住宅
しもいで 下	しもいで 下	27232	66	34° 21' 15"	135° 15' 04"	031113	50.0	住宅
くろだみなみ 黒田南	くろだ 黒田	27232	51	34° 21' 00"	135° 14' 44"	030411	3.6	住宅
くろだみなみ 黒田南	くろだ 黒田	27232	51	34° 20' 53"	135° 14' 27"	030909	3.6	住宅
じんこうじはすいけ 神光寺(蓮池)	いし 石	27232	20	34° 20' 34"	135° 14' 55"	031126	6.0	住宅
むかい 向	じおんだ 自然田	27232	43	34° 20' 52"	135° 15' 31"	030404	2.2	住宅
むかい 向	じおんだ 自然田	27232	43	34° 20' 56"	135° 15' 27"	031022	4.0	住宅
こう 高	じおんだ 自然田	27232	70	34° 20' 44"	135° 15' 45"	030401	3.0	住宅
いずみととり 和泉鳥取	いずみととり 和泉鳥取	27232	62	34° 20' 27"	135° 15' 47"	030414	4.5	住宅
かいかけ 貝掛	かいかけ 貝掛	27232	19	34° 20' 33"	135° 13' 45"	030303	42.0	倉庫
かいかけ 貝掛	かいかけ 貝掛	27232	19	34° 20' 32"	135° 13' 39"	031020	74.0	住宅
たやまびがし 山東	はこつくり 箱	27232	58	34° 20' 04"	135° 12' 30"	030710	8.4	住宅

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
おぎきしみず 尾崎清水	散布地	弥生時代～近世		製塩土器・土師器・瓦器・瓦	
うまがわきた 馬川北	散布地	弥生時代～近世		土師器・須恵器・瓦器	
うまがわきた 馬川北	散布地	弥生時代～近世		埴輪・土師器・須恵器・製塩土器	
うまがわきた 馬川北	散布地	弥生時代～近世		埴輪・須恵器・瓦器・白土器・ 青磁・土師質有孔土鍾	
うまがわきた 馬川北	散布地	弥生時代～近世		土師器・須恵器・陶器・磁器	
うまがわきた 馬川北	散布地	弥生時代～近世		須恵器・製塩土器・瓦器・白土 器・青磁・陶器	
うまがわきた 馬川北	散布地	弥生時代～近世		須恵器・瓦器・土師質竈蓋・陶 器・瓦	
うまがわきた 馬川北	散布地	弥生時代～近世		須恵器・土師質竈蓋・陶器・磁器	
うまがわきた 馬川北	散布地	弥生時代～近世		須恵器・土師質竈蓋	
うまがわ 馬川	散布地	中世		須恵器・製塩土器・瓦器・白土 器・瓦	
し 下	散布地	中世～近世	土坑	土師質竈蓋・土師質管状土鍾・ 瓦質土器・陶器・磁器・瓦	
し 下	散布地	中世～近世		瓦器・青磁・土師質土器・陶器 ・磁器	
くろだみなみ 黒田南	散布地	中世		土師質土器・瓦器・白磁	
くろだみなみ 黒田南	散布地	中世		土師器・須恵器・瓦器	
じんこうじほすいけ 神光寺(蓮池)	散布地・ 寺社・そ の他の墓	中世～近世		須恵器・黒色土器・瓦器・白土 器・土師質竈蓋・土師質土管・ 陶器・磁器・瓦	
むかい 向	散布地	不明		土師質土器	
むかい 向	散布地・ 墓地	不明			
こ 高	散布地	不明			
いずみととり 和泉鳥取	散布地	不明			
かい 貝	散布地・ 集落跡	奈良時代	建物跡・土坑・溝・ 落ち込み・ピット	須恵器・土師器・製塩土器・瓦器・ 青磁・土師質竈蓋・土師質管状 土鍾・瓦質土器・陶器・磁器	
かい 貝	散布地	飛鳥時代	土坑・溝・ピット	土師器・須恵器・製塩土器・瓦 器・磁器	
たやまひがし 田山東	散布地	中世		瓦器・白土器・青磁・青花・土 師質土器・須恵質土器	



尾崎清水遺跡03-1区 トレンチ全景（東より）



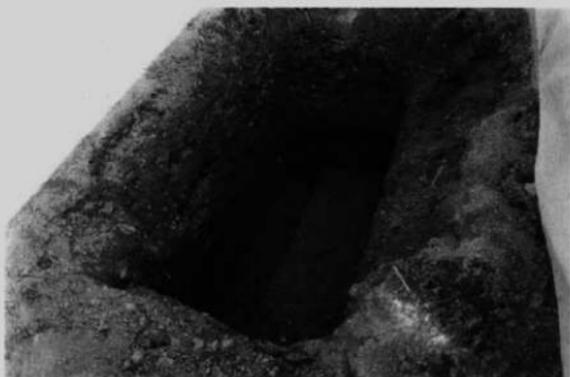
馬川北遺跡02-2区 トレンチ全景（東より）



馬川北遺跡02-3区 トレンチ全景（東より）



馬川北遺跡02-4区 トレンチ全景（西より）



馬川北遺跡02-5区 トレンチ全景（西より）



馬川北遺跡02-6区 トレンチ全景（東より）



馬川北遺跡02-7区 トレンチ全景（北より）



馬川北遺跡02-8区 トレンチ全景（北より）



馬川北遺跡02-9区 トレンチ全景（北西より）



馬川遺跡03-1区 トレンチ全景（南より）



下出遺跡03-1区 トレンチ全景（北より）



下出遺跡03-2区 1 トレンチ全景（北より）



黒田南遺跡03-1区 トレンチ全景（南より）



黒田南遺跡03-2区 トレンチ全景（南より）



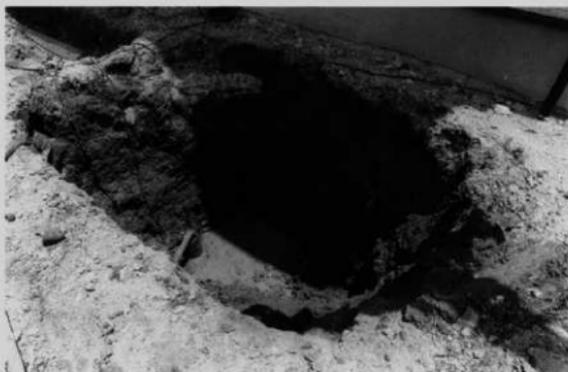
神光寺(蓮池)遺跡03-2区 トレンチ全景（西より）



向出遺跡03-1区 トレンチ全景（東より）



向出遺跡03-2区 トレンチ全景（西より）



高田遺跡03-1区 トレンチ全景（南より）



和泉鳥取遺跡03-1区 トレンチ全景（西より）



貝掛遺跡02-1区 1 トレンチ全景（西より）



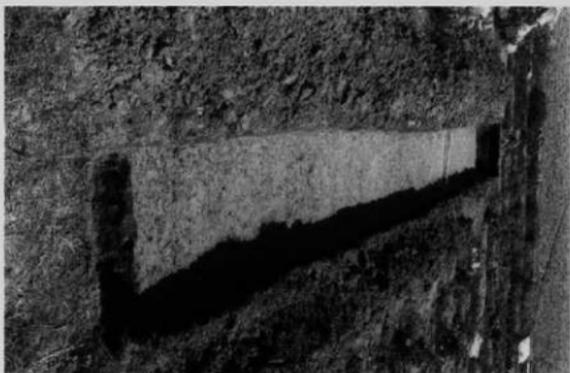
貝掛遺跡02-1区 2 トレンチ全景（西より）



貝掛遺跡02-1区 2トレンチ 建物1柱穴（西より）



貝掛遺跡02-1区 2トレンチ 建物1柱穴（西より）



貝掛遺跡02-1区 3トレンチ全景（西より）



貝掛遺跡02-1区 4 トレンチ全景（南より）



貝掛遺跡02-1区 5 トレンチ全景（北より）



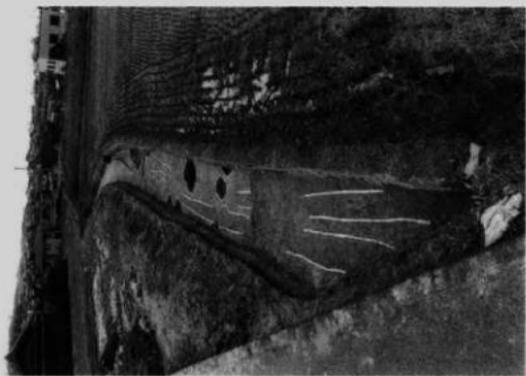
貝掛遺跡02-1区 6 トレンチ全景（北より）



貝掛遺跡02-1区 7トレンチ全景（南より）



貝掛遺跡03-1区 1トレンチ全景（東より）



貝掛遺跡03-1区 2トレンチ全景（北より）



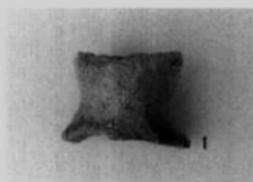
貝掛遺跡03-1区 2トレンチ全景(南より)



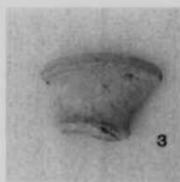
貝掛遺跡03-1区 3トレンチ全景(東より)



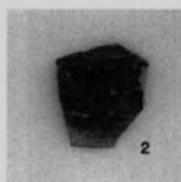
田山東遺跡03-1区 トレンチ全景(北より)



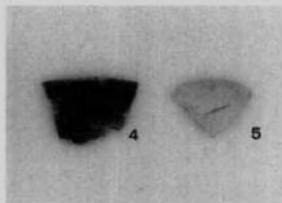
尾崎清水遺跡03-1区 出土遺物



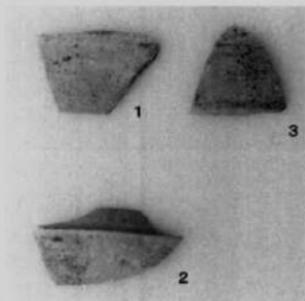
尾崎清水遺跡03-1区 出土遺物



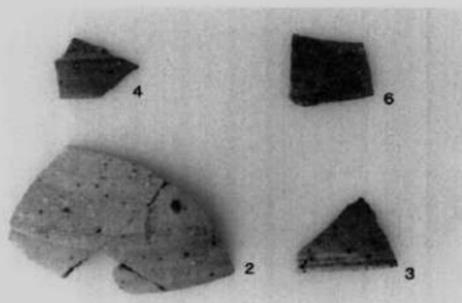
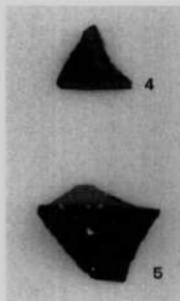
尾崎清水遺跡03-1区 出土遺物



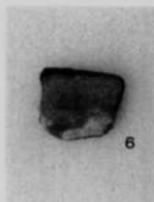
尾崎清水遺跡03-1区 出土遺物



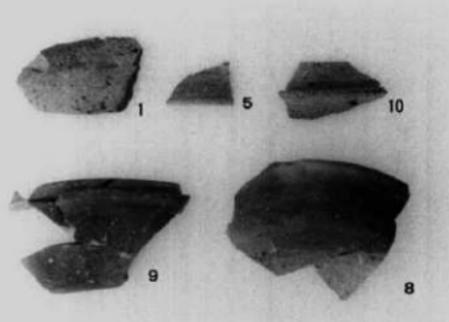
馬川北遺跡02-2区 出土遺物



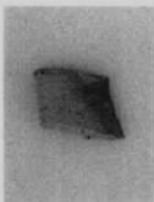
馬川北遺跡02-3区 出土遺物



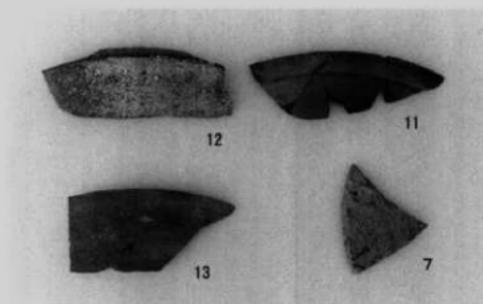
馬川北遺跡02-2区 出土遺物



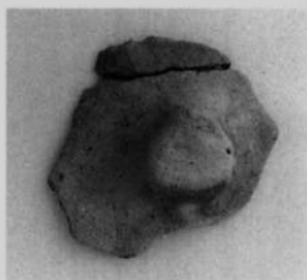
馬川北遺跡02-3区 出土遺物



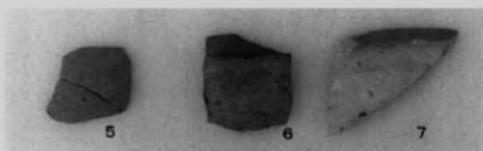
馬川北遺跡02-2区 出土遺物



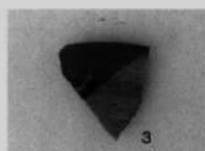
馬川北遺跡02-3区 出土遺物



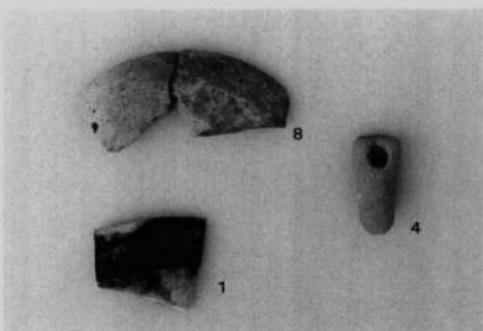
馬川北遺跡02-3区 出土遺物



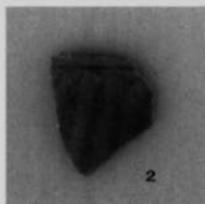
馬川北遺跡02-4区 出土遺物



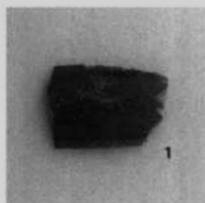
馬川北遺跡02-4区 出土遺物



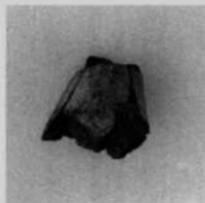
馬川北遺跡02-4区 出土遺物



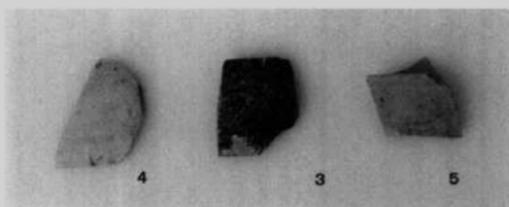
馬川北遺跡02-4区 出土遺物



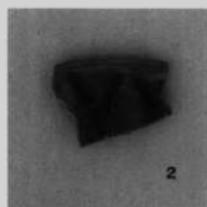
馬川北遺跡02-5区 出土遺物



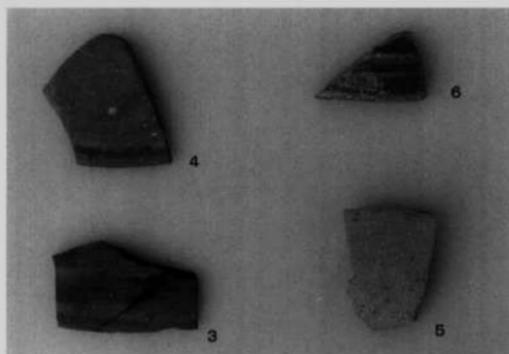
馬川北遺跡02-5区 出土遺物



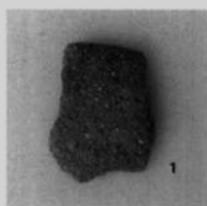
馬川北遺跡02-6区 出土遺物



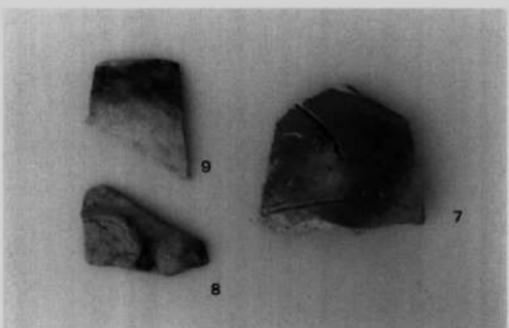
馬川北遺跡02-6区 出土遺物



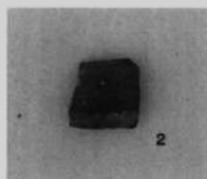
馬川北遺跡02-7区 出土遺物



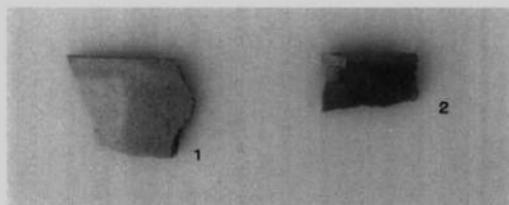
馬川北遺跡02-6区 出土遺物



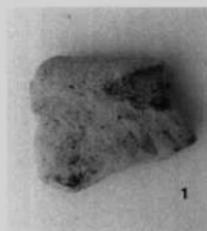
馬川北遺跡02-7区 出土遺物



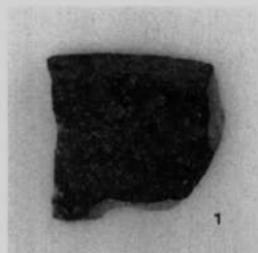
馬川北遺跡02-9区 出土遺物



馬川北遺跡02-7区 出土遺物



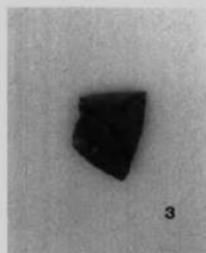
馬川北遺跡02-9区 出土遺物



下出遺跡03-1区 出土遺物



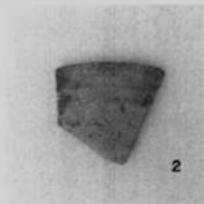
下出遺跡03-1区 出土遺物



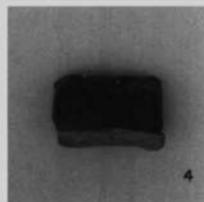
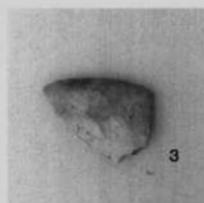
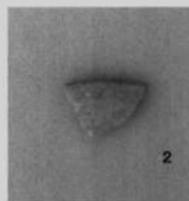
下出遺跡03-2区 出土遺物



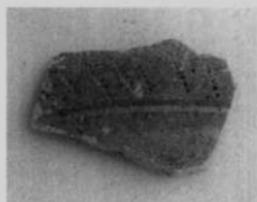
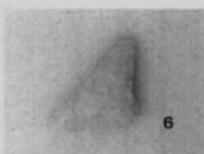
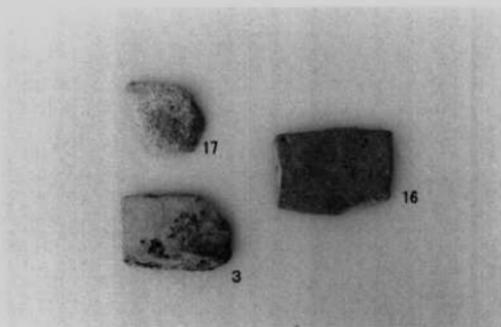
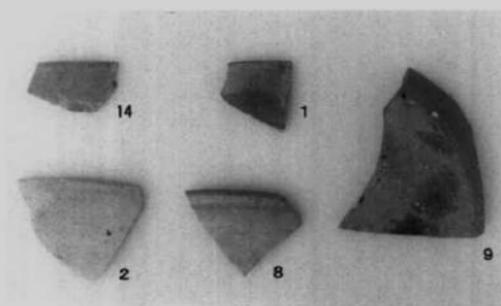
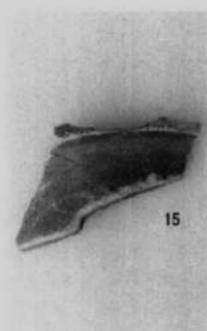
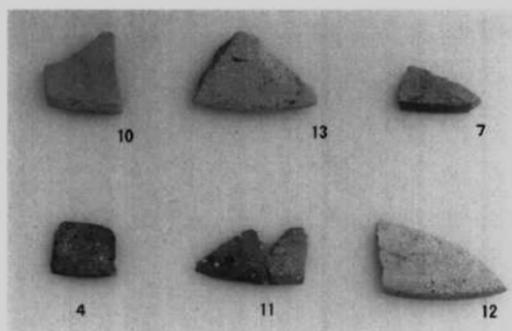
下出遺跡03-2区 出土遺物

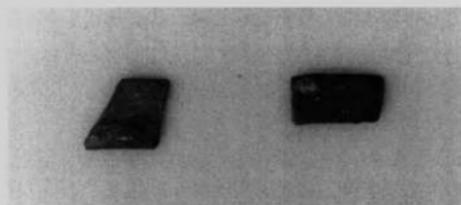


下出遺跡03-2区 出土遺物



神光寺(蓮池)遺跡03-1区 出土遺物





貝掛遺跡02-1区 出土遺物



貝掛遺跡02-1区 出土遺物



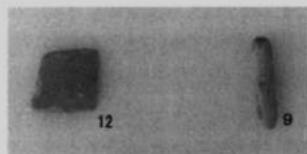
貝掛遺跡02-1区 出土遺物



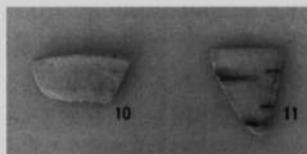
貝掛遺跡02-1区 出土遺物



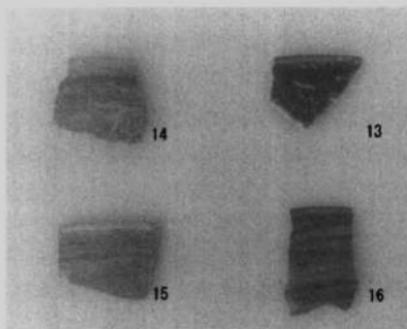
貝掛遺跡02-1区 出土遺物



貝掛遺跡03-1区 出土遺物



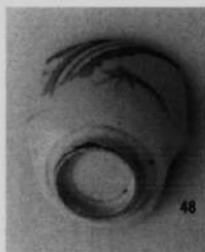
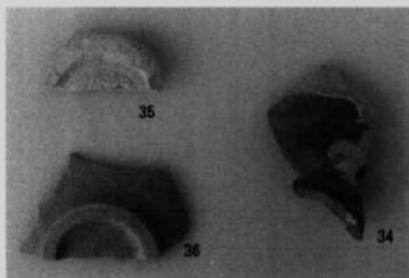
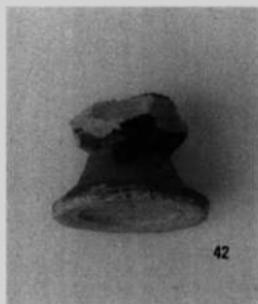
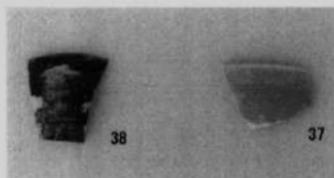
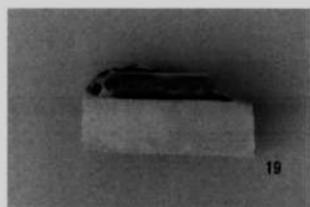
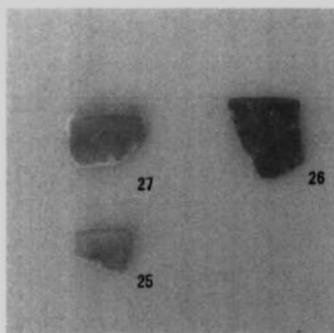
貝掛遺跡03-1区 出土遺物

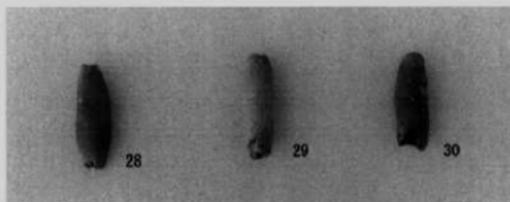
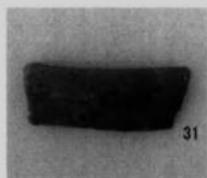
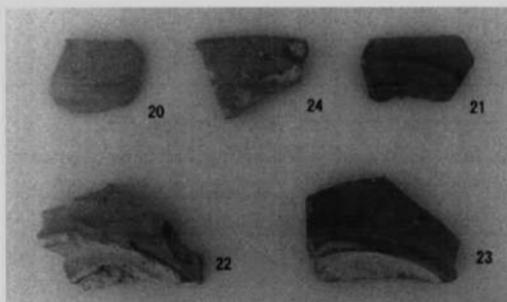
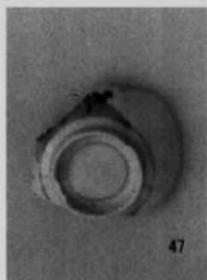
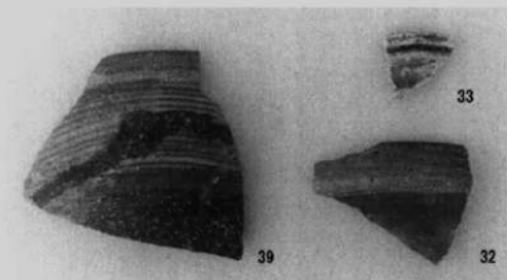
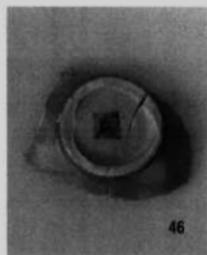
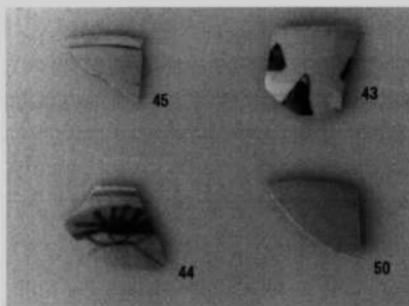


貝掛遺跡03-1区 出土遺物

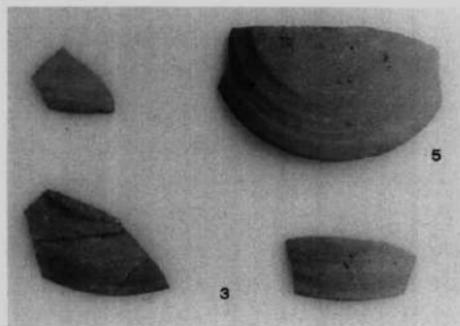
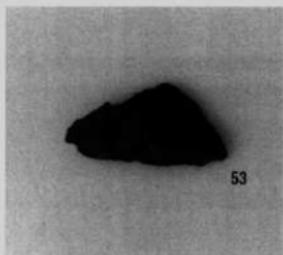
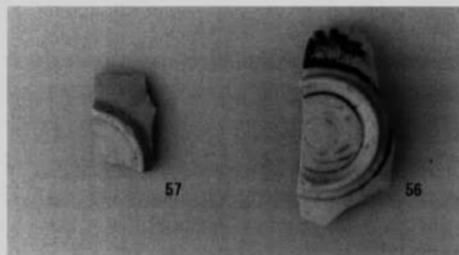
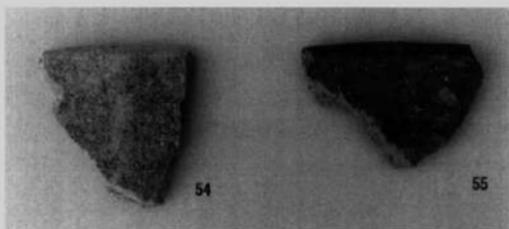
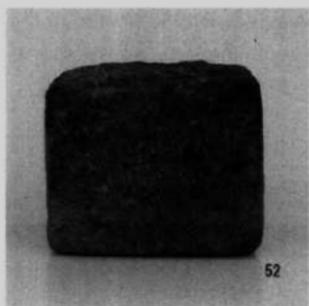


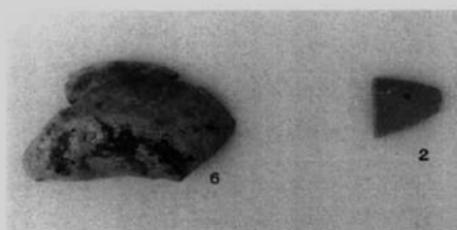
貝掛遺跡03-1区 出土遺物



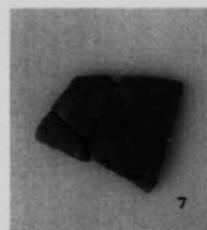


貝掛遺跡03-1区 出土遺物

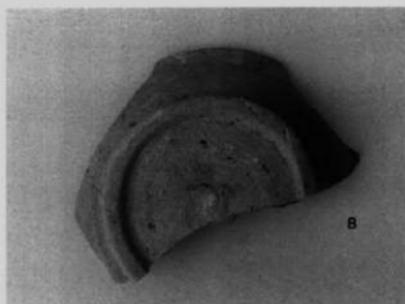




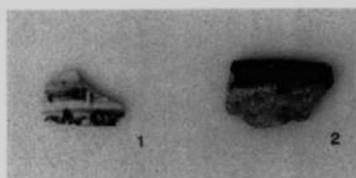
貝掛遺跡03-1区 出土遺物



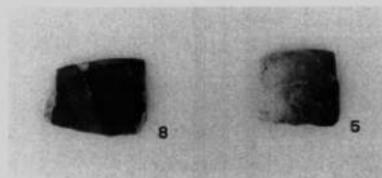
貝掛遺跡03-1区 出土遺物



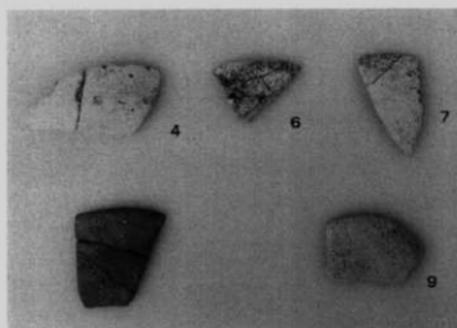
貝掛遺跡03-1区 出土遺物



田山東遺跡03-1区 出土遺物



田山東遺跡03-1区 出土遺物



田山東遺跡03-1区 出土遺物



田山東遺跡03-1区 出土遺物

阪南市埋蔵文化財報告 32

阪南市埋蔵文化財発掘調査概要 XIX

2004年3月

発行：阪南市教育委員会生涯学習部
生涯学習推進課
大阪府阪南市尾崎町35の1
印刷者：三和印刷株式会社
阪南市鳥取中208-15